

男女共同参画情報誌

すてっぷ Step 3

令和8年
2026
vol.62

【発行】
鹿児島市
男女共同参画推進課



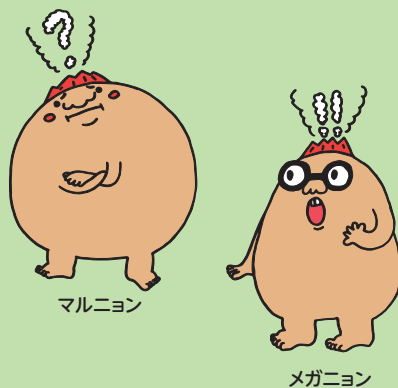
リキニョン
ベビニョン
マグマシティPRキャラクター
火山の妖精「マグニョン」

特集

身近にある 性別による思い込み

もやもやしたことありませんか？

日々の暮らしの中で、誰かの性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）などがあなたをもやもやさせているなと感じたことはありませんか？
性別にかかわらず誰もが暮らしやすいまちづくりのために、わたしたちができることを考えてみましょう。



マルニョン

メガニョン

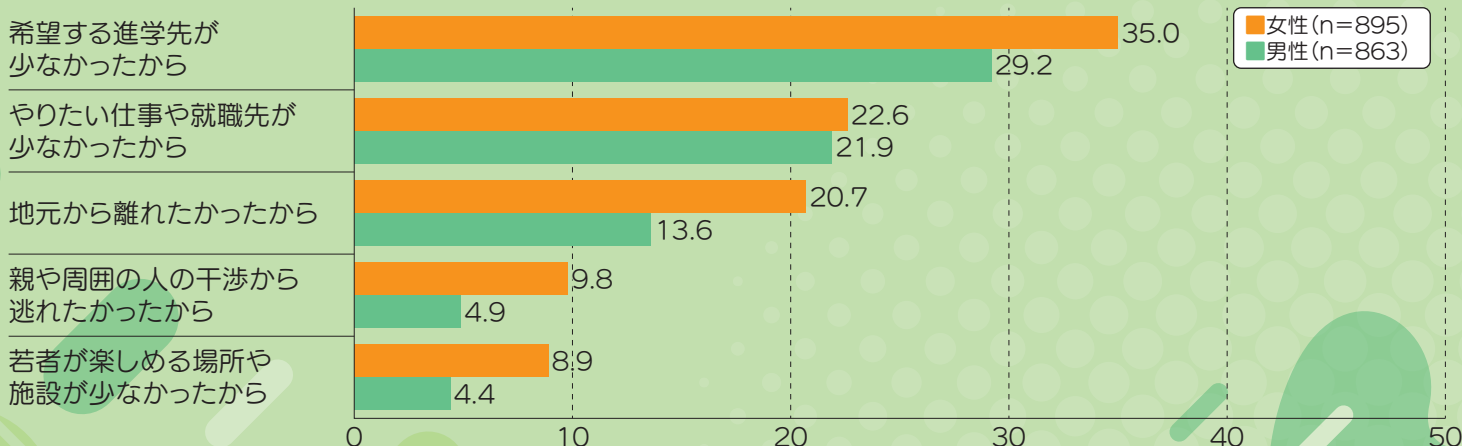
今、全国では地方から都市部への若年層の人口流出が指摘され、鹿児島市においても、20代を中心とした若年層では転出超過が続いています。

転出の理由のなかには

地域に残る固定的な性別観にかかわる「アンコンシャス・バイアス」を息苦しく感じたこと、若い世代の「自分の可能性や希望を実現したい」といった意識と地域との間にギャップがあり、そのギャップの要因のひとつに「アンコンシャス・バイアス」があることなどが指摘されています。

参考：「『若者や女性にも選ばれる地方』に向けた地域の働き方・職場改革等の取組の進め方（ガイドブック）」令和7年5月28日 内閣官房全世代型社会保障構築本部事務局
・「地方創生2.0基本構想」令和7年6月13日閣議決定

■出身地域を離れた理由（男女別）（自分の都合で出身地域を離れて都会へ転出した者）



出展：内閣府「令和6年度地域における女性活躍・男女共同参画に関する調査」（令和6年度内閣府委託調査）より抜粋。回答者は18～39歳の男女

鹿児島市では、地域の性別役割分担にかかる意識の状況を知るために、令和7年度に無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関するアンケート調査を行い、性別による無意識の思い込みエピソードと解消に向けたアクションを募集しました。

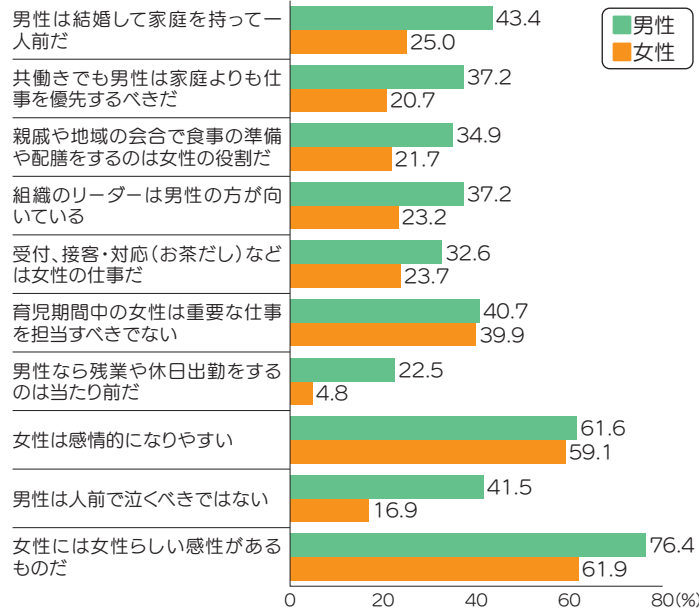
アンコンシャス・バイアスとは…？

これまでの経験や見聞きしたことなどから生み出される無意識の思い込みのこと。
(内閣府ホームページ)

鹿児島市の現状

● アンケート調査結果

鹿児島市の性別役割意識



※割合は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計。鹿児島市の資料を基に作成

鹿児島市と全国の比較(上位5項目)

	男性		女性	
	鹿児島市	全国	鹿児島市	全国
1 女性には女性らしい感性があるものだ	76.4	45.7	61.9	43.1
2 女性は感情的になりやすい	61.6	35.3	59.1	37.0
3 男性は結婚して家庭を持って一人前だ	43.4	30.4	39.9	33.2
4 男性は人前で泣くべきではない	41.5	28.9	25.0	17.9
5 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	40.7	33.8	23.7	18.3

※単位は%。割合は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計。鹿児島市の資料を基に作成

多くの項目で女性より男性は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答する割合が多く、性別による役割分担意識が強い傾向が見られました。また、上位5項目を全国と比較すると、いずれも全国を大きく上回っており、地域のなかに性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスがあることを示唆していると考えられます。

市民・市内学生のみなさんの性別による無意識の思い込みのエピソードを一部紹介します

- 夫と協力して育児をしているが、それを見た母に「私たちの時にはそんなことなかったのに」と言われ、祖母には「あなたは家で何をしているの?」と言われた。
- お盆や正月に親戚一同で集まるのだが、女性陣は座るひまもなく、ずっと台所仕事をしている。
- 学校のPTAに父親である私が参加したら、周りは全員お母さんだった。
- 息子に「男の子は泣かない!」と言ったことがあり、いまだに「なんで男の子だから泣いちゃいけないんだ」と言われる。
- 「結婚して子どもを産んで母親になることが当たり前」と思われる。
- 「男だから将来は家計を支えていかなければならない」と言われた。



アンコンシャス・バイアスを減らす3つのポイント

POINT1

「～すべき」、「普通は～」に注意



POINT2

相手のサインを見逃さない



POINT3

常に自分に問いかける



参考：政府広報オンライン「アンコンシャス・バイアスを減らす3つのポイント!誰もが活躍できる社会に」

1人ひとりの行動が地域の中に新しい視点を加え、未来を広げます!

防災

- ・より安心な避難所の環境づくり
- ・多様な視点で備えが充実



新しい産業・イノベーション

- ・多様なアイデアが生まれる
- ・誰にとっても使いやすい商品・サービス



町内会・地域活動

- ・誰もが参加しやすい地域活動
- ・新しい地域のつながりの育成



教育・子どもの未来

- ・子どもがのびのび挑戦できる
- ・夢や可能性の選択肢が広がる



働き方・職場

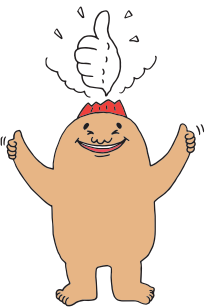
- ・役割を固定せず、能力や得意を生かせる
- ・働きやすい職場に



解消に向けたアクション

市民・市内学生のみなさんが行っている解消に向けたアクションを一部紹介します

- これから結婚する息子には、仕事、家庭、育児は平等にと話をしている。
- 「男の子なんだから」「女の子なんだから」という言葉や性別による役割分担の思い込みに気をつけながら生活している。「女の子なんだからお淑やかにしなさい」という言葉を使わず、「所作が綺麗だとしっかりした人に見えると思うなー」という言い換えをしている。
- 進学やこの先の進路など、本当に自分自身がやりたいことや興味がある進路を否定せずに進ませてあげたいと思っている。



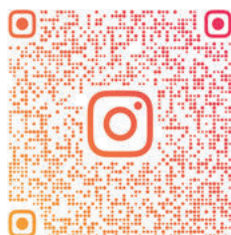
鹿児島市「気づいてアクション!かごしまの性別による思い込み」にアクセスしよう!



市民の皆さんや市内学生から集めた性別による無意識の思い込みエピソード・解消に向けたアクションを掲載しています。

鹿児島市男女共同参画センター公式SNSのご案内

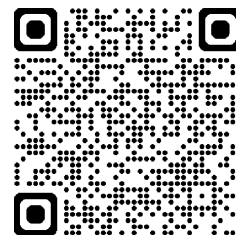
男女共同参画の情報やイベントの募集などについて公式SNSで発信中です。ぜひチェックしてください！



Instagram
公式アカウント



X
公式アカウント



Facebook
公式アカウント

サンエールかごしま相談室(鹿児島市配偶者暴力相談支援センター)

●女性のための総合相談(電話・面接)

女性相談員が相談をお受けします。
面接相談は事前の予約が必要です。

○相談日 火～日曜日・祝日

○時 間 10:00～17:00
(水曜日は20:00まで)

●専門相談

各分野の専門家が相談をお受けします。

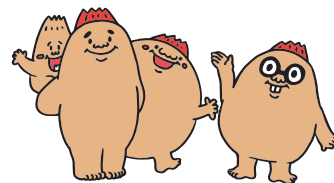
事前の予約が必要です。

〔女性対象(面接)〕・法律相談・心理相談

〔男性対象(電話・面接)〕・男性相談

ご相談・ご予約は ☎099-813-0853(直通)

相談は無料です。
秘密は守ります。



鹿児島市主催男女共同参画週間講演会を開催しました！



講師
一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所
代表理事 守屋 智敬さん

「気づくこと」が、一人ひとりの可能性を広げる第一歩

鹿児島市では、男女共同参画週間(6月23日～29日)にあわせて「知ろう！気づこう！アンコンシャス・バイアス～一人ひとりの可能性が広がることを目指して～」を開催しました。

テーマである「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)」について、講師の守屋智敬さんにお話を伺いました。

インタビューは
こちらから！



男女共同参画情報誌
すてっぷ
step

令和8年
2026
vol.62
【発行】
鹿児島市
男女共同参画推進課

発行 鹿児島市 市民局 人権政策部
男女共同参画推進課
〒890-0054 鹿児島市荒田一丁目4-1
TEL 099-813-0852

制作 斯文堂株式会社

あなたとわくわく
マグマシティ
鹿児島市